

作成：2022年8月4日



RIEGL VUX コンソーシアム事務局

**RIEGL 社 UAV レーザー保有ユーザー組織が、設立 5 周年イベントセミナーを開催
内閣官房や国交省、東大の講師陣によるドローンのレベル 4 飛行に関する基調講演や
話題提供などに国内各地から 120 名が参加**

RIEGL 社 UAV レーザーシステム保有ユーザー組織「RIEGL VUX コンソーシアム」*の設立 5 周年記念イベントセミナー「VUX コンソーシアム 2022」が、7月27日(水)・28日(木)の2日間に亘り、(一社)日本写真測量学会共催*で、愛知県豊山町社会教育センターホールにて地元中日本航空(株)の協力を得て対面方式で開催され、コンソーシアム会員のほか国土交通省関係者や UAV 利活用研究団体内日本航空(株)などから約 120 名が参加して盛会裡に終了した。

今回のイベントセミナーでは内閣官房小型無人機等対策推進室や国土交通省航空局安全部、東京大学総括プロジェクト機構から外部講師を迎えて、ドローンのレベル 4 飛行に関するテーマの基調講演であったが、各講演とも活発な質疑応答が交わされ関心の高さが伺えた。参加者からは「ドローンのレベル 4 飛行への理解が深まり有意義だった」「これからの自社のドローン業務に生かしたい」などの感想が寄せられている。その他コンソーシアム会員からの様々な話題提供などが行われ、セミナー終了後に希望者向けとして実施された、県営名古屋空港エリアにある中日本航空(株)本社の整備工場見学やFTD 体験*では、貴重な体験が出来たので全体的に魅力あるプログラムだったとの高評価を頂いた。

しかしながら、新型コロナ第 7 波による全国的な感染者数の増加の影響で、感染予防の観点から意見交換会が中止となり、止むを得ず参加辞退の申し出があったのは課題として、今後のイベントではオンライン参加とのハイブリッド方式の採用も検討する意向である。

<基調講演タイトル・講演者>

◇ドローンのレベル 4 飛行の実現、さらにその先へ

～制度整備、技術開発 社会実装に向けた取組み～

講演者：内閣官房 小型無人機等対策推進室 参事官補佐 浦野雄介 氏

◇無人航空機運航リスクアセスメント手法 Specific Operations Risk Assessment (SORA) の紹介

講演者：東京大学総括プロジェクト機構 特任准教授 中村裕子 氏

◇ドローンのレベル 4 飛行する機体に求められる要件（第一種型式認証）等について

講演者：国土交通省航空局安全部航空機安全課航空機技術基準企画室

課長補佐 松村昭博 氏

* RIEGL VUX コンソーシアム：RIEGL 純正 UAV レーザーシステム保有ユーザーによる組織
2017年4月に設立され、会員は現在40社で今年4月に5周年を迎えた。

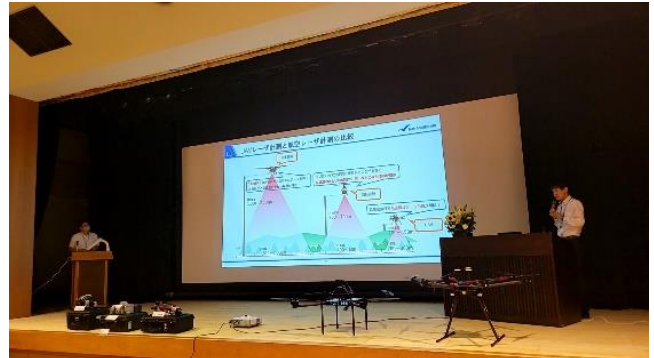
<https://www.riegl-japan.co.jp/consortium/>

* 本イベントセミナーは（一社）日本写真測量学会による測量系CPD（最大6ポイント）
付与の認定学習プログラムです。

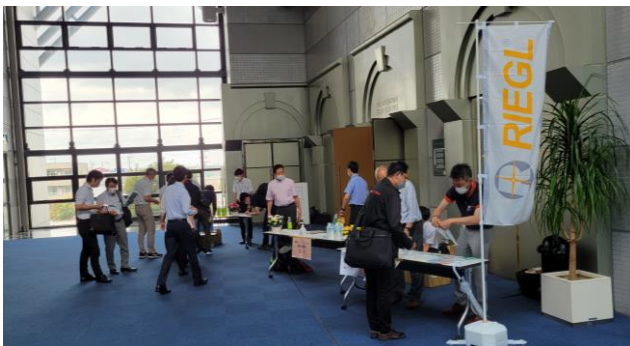
* FTD（Flight Training Device：飛行訓練装置）



対面方式で開催されたイベントセミナー会場



壇上にはドローン本体やUAVレーザーも登場



イベント参加受付・CPD登録風景

◇本イベント情報に関するお問い合わせ◇

RIEGL VUX コンソーシアム事務局

担当：松田 重雄

E-mail matsuda@riegl-japan.co.jp